

ななかまど

令和4年12月1日(木)
第53号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報

今シーズンのホタテ漁お疲れ様でした。 貝の値段もよく、鮭定置は漁獲量 漁獲高共に絶好調

一方、酪農家はこれからが正念場です



上架されたホタテ船

十一月十九日に今シーズンのホタテ漁が終了し、次日には船の上架作業が行われました。漁業は、今年はコロナ規制が一部解除されたため「玉冷」の値段がよく、鮭漁は漁獲量が昨年の一・四倍となり魚価も高くてもまずまずでした。しかし、一方では……。

新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵略によって小麦などの流通不足から穀物の価格が高騰し、またロシアの天然ガスが市場に出回らなくなりエネルギーの高騰が続く中、日本の物価は高騰しています。ななかまどの会のパンも値上げせざるを得なくなりました。

そんな中、猿払村の基幹産業「漁業」は「コロナ規制」の海外での解禁の影響もありホタテ玉冷の値段も上がり、また、昨年まで回遊の少なかった鮭も四割増え、魚価も高くなります。一年ではなかったでしょう。漁業従事者の皆さん、今シーズンお疲れ様でした。来シーズンに向け心身のケアに充実した余暇をお過ごし下さい。

一方でもう一つの基幹産業「酪農」は今大変な状況を向かえています。ウクライナ情勢でトウモロコシの市場価格が高騰し飼料が二倍近くになりました。また、生まれてきた雄

牛も一頭十万円だった相場が千円でも買手がつかない状況になっていきます。肉牛として市場に出すまでのコストがかかりすぎるからです。さすがにホクレンも飲用乳の買い取り価格を1キロあたり10円値上げしました。北海道の生乳の8割は加工乳です。酪農家は「ならし」で買い取りされるので実質値上げは2円程度だそうです。

このままでいくと牛乳を搾れば搾るほど赤字が膨らみます。今はまだ飼料の在庫が有りますから、正念場は来年度になるのではないのでしょうか。国の救済が絶対に必要です。

BA5からBQ1、1ヶ変異株に置き換わろうとしている新型コロナウィルスの急増はどうしたものか。子供から大人へと広がっているようです。鬼志別小

「この罹患者急増はどうか」

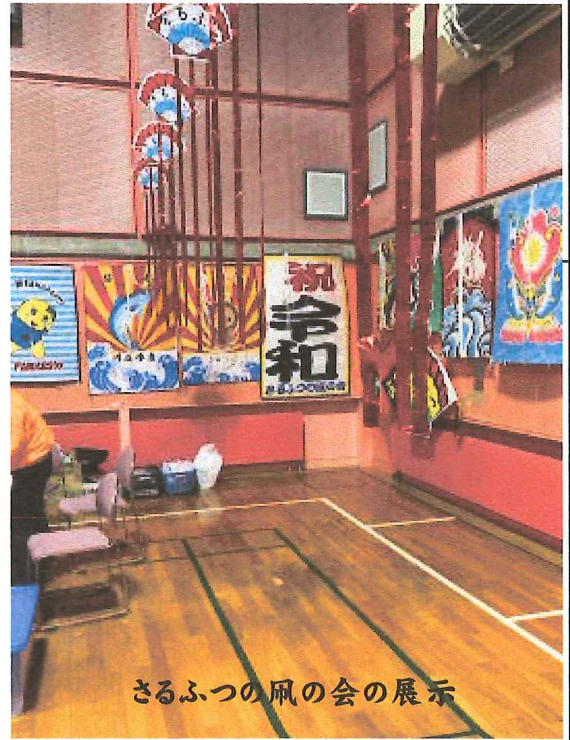
学校も閉鎖になりました。十月は外国人実習生の間でクラスターが起こったようで、防災無線で六十人が罹患したと放送がありました。「えっそんなに？」と驚きました。

先月のことを今月知らされても防ぎようがありません。できれば、今の様子を知らりたいのは私だけでしょうか。

だれも「どここの誰が罹った」と教えてくれとは言いません。陽性検査が村だけでなく稚内市や道でも集約しているので正確な数値はわからないでしょうが、少なくとも村で調査した数値くらい次の日に村民に知らせてくれてもいいのではないのでしょうか。

なぜなら、高齢者の死亡者が増えているからです。情報が必要ならば防ぎようがありません。集落によっては高齢者の割合が高い地域もあります。「買い物に出かけようか、やめようか？」その判断材料に加えさせて欲しいのです。

令和4年度猿払村文化祭終わる



さるふつの凧の会の展示

十一月十二日・十三日に村の「文化祭」が農村環境改善センターで開催されました。「最北の長寿焼き」の皆さんをはじめパッチワークの会「もりのくまさん」写真サークル「TURN」ニットハートの会」等多くの団体・個人の作品が展示されました。勿論私の属する「凧の会」もです。どれもこれも感性溢れる作品ばかりでした。

もっとも文化団体が増えるといいなと思えますが、なかまどの会では現在「創作実習室」を整備中です。



えっ！増税？

新聞報道によると、現在開かれている国会で、防衛費をGDP（国内総生産）比2%に5年以内を実現するため、不足する財源を増税で確保する云々の議論が始まりました。

GDPは国の経済状態のこと、日本はアメリカ中国に次いで世界第三位ですが、ここ30年近く成長していません。それは消費税を3回も上げたからです。増税のたびに国民の消費は冷え込みました。

防衛は絶対必要ですが、赤字国債を発行した時から「税込」は国家予算の一部になりました。予算が足りなくなったらお金を印刷すればいいだけなのです。

核兵器の使用は絶対反対！

戦争反対

ななかまどの会は障がい者の社会参加を応援している公益法人です